

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第4回 定例会)

質問順位	9	1 番 議 員	松 石 健 児
質問事項 1	婚活支援事業とセカンドマリッジ（再婚希望者応援）事業について		
質問の要旨	<p>平成28年度より、町内への定住促進と人口増加を図るため、婚活支援事業を実施している。松田町長は人口には一定の歯止めが掛かりつつあると公言しているが、この婚活支援事業がどの程度の効果を上げているかを問う。</p> <p>また、本年度11月にセカンドマリッジ事業を企画された。その目的と今後の計画について問う。</p>		
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 平成28年度以降の婚活支援事業について、それぞれ参加者数の実績を示せ</p> <p>(2) 当該事業により結婚し、定住に結びついた事例は確認できたか</p> <p>(3) 婚活登録者数を示せ</p> <p>(4) 各種婚活支援事業参加者は、全て婚活登録する必要はないのか</p> <p>(5) 婚活支援員数と活動状況は</p> <p>(6) セカンドマリッジ事業の目的と実施計画を示せ</p> <p>(7) セカンドマリッジ事業は、町として本当に効果的な事業か</p>	町 長	町 長

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第4回 定例会)

質問順位	9	1 番 議員	松 石 健 児
質問事項 2	介護予防事業と介護保険制度の見直しについて		
質問の要旨	<p>平成29年度から、より地域の実情に沿ったサービスを展開する「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、各行政区で100歳体操を中心とした「通いの場」などが行われている。現状はどうか。</p> <p>また、平成30年10月の介護保険制度の見直しで、ヘルパーが自宅を訪問して掃除や食事の支度を行う「生活援助」において、利用者がサービスを使い過ぎないように、自治体がチェックする仕組みが新たに導入された。介護保険の財政が厳しくなる中、必要以上のサービスが提供されることは良くないが、生活援助サービスの利用頻度が高い認知症でひとり暮らし家庭等への配慮についての考えを問う。</p>		
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 各行政区での「通いの場」について ア 導入行政区は現在いくつあるか イ 運営等について問題点はないか ウ 町からの補助制度はどうなっているか</p> <p>(2) 現在の介護予防サポーターの人数と今後の養成講座の実施計画は</p> <p>(3) 町内で認知症と思われるひとり暮らし家庭の件数は把握しているか</p> <p>(4) 介護保険制度における要介護レベルそれぞれの訪問回数において、自治体へのケアプランの届出が必要な利用者の数を把握しているか</p> <p>(5) 地域ケア会議はどこで行われ、構成メンバーは誰か</p> <p>(6) 訪問介護サービスにおいて危惧する点はあるか</p>	町 長	町 長
		町 長	町 長
		町 長	町 長